

# 那須塩原駅周辺のまちづくり

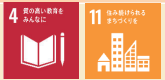
那須塩原市  
企画部那須塩原駅周辺整備室



16  
班

コミュニティデザイン学科  
建築都市デザイン学科  
社会基盤デザイン学科

大塚菜南・鈴木茜  
日南田空我・宮本朋樹  
水田瑛伸



## 背景

### 那須塩原市

那須塩原駅は、多くの人に通勤や通学、観光に利用されるが、駅周辺に観光施設や集客施設が少ない。それに対して駐車場が多く、広い土地を有効利用できていないように見受けられる。

また新幹線の停車駅である那須塩原駅は、栃木県北地域の公共交通の要所であるが、そのポテンシャルを生かし切れていない。

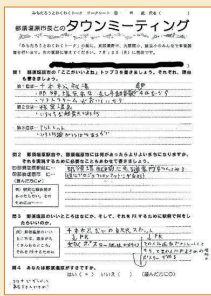
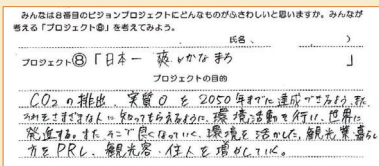
今後、新庁舎建設を控える中で、那須塩原駅周辺ににぎわいを創りだすことを目標とした取り組みや、市民にまちづくりへ参画してもらうための取り組みを模索するため、令和2年度に引き続きプロジェクト演習を実施し、駅前の活性化、市の発展を目指すこととした。

## 方法

### 1stサイクル

#### ◎アンケート調査及び分析

小中学校で実施されたアンケートの集計  
対象者：東那須野中学校3年生(85名)  
大原間小学校6年生(84名)  
波立小学校5・6年生(36名)



### 2ndサイクル

#### ◎出前授業

アンケート調査結果の分析を基に  
那須塩原市内の小中学生に向けて  
オンラインでの授業を行った。

#### 【授業内容】

- ・那須塩原駅周辺のまちづくりと大学生の関わり
- ・まちづくりについての大学生である私たちの考え
- ・私たち大学生が取り組もうとしていること
- ・アンケートの分析結果と大学生からの質問
- ・まちづくりをする上で大切なこと

### まちづくりに対する子ども達の夢や想いを把握

### まちづくりに対して子ども達が自分の意見を しっかり持っていることへの気づき

### 3rdサイクル

#### ◎まちづくり=人づくり

まちづくりを真剣に考え、自分の市を誇りに思っている子どもたち  
自体が那須塩原市の最大の魅力

↓  
私達の活動も含めより多くの市民に、こうした子ども達の存在や今回の活動を知ってもらうことが「市民みんなでやるまちづくり」に繋がるのではないかと

→那須塩原市の広報誌である「広報なすしおばら」に今回の活動の記事を掲載し、取り組みの経緯や子ども達とのやり取り等をPRできないかを検討した。

## 活動を通して気づいたこと

小中学生が自分たちが住んでいる那須塩原市や那須塩原駅周辺の未来について考えていることを知りまちづくりの将来の担い手となる子ども達への着目、子どもの視点の取入れが重要であると感じた

総合的な学習の時間で「まちづくり」について学び、体験型、問題解決型学習の充実、地域との連携と言う意味において、今回小中学生と一緒に活動できたことは非常に有意義なことであった

広報に掲載したことにより、住民から「こんな活動をしているんだね」という言葉を実際にいただく等、「知ってもらう」ことで更にも多くの人を巻き込んだ活動につながることが期待できる

## 目的

那須塩原駅周辺に存在する諸課題に対し、我々学生と那須塩原市役所職員の方々、那須塩原駅周辺の小中学校の児童、生徒、諸先生方の意見をもとに、今後の市の発展につながるような提案や活動をしたと考えた。

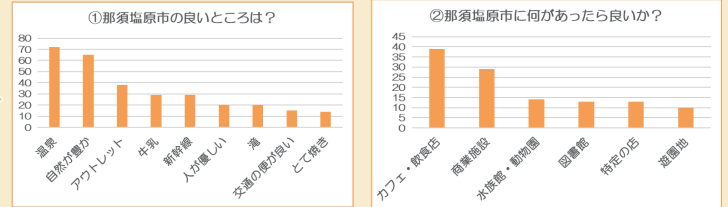
### 調査・取り組み方法

- ① 現地訪問にて、地域パートナーさんとまちあるき(現状確認)
- ② 駅周辺の小中学生にアンケート調査、その分析
- ③ ②の調査結果を踏まえ、那須塩原駅周辺の小中学生に対し、大学生の視点で「まちづくり」をテーマとした課外授業の実施

このような取り組みを行うことで将来のまちづくりを担う人材を生むきっかけに我々学生がなることを目的とした。

## 結果

### ◎アンケートの分析結果(抜粋)



- ③ 那須塩原市の魅力をPRするために駅前では何を行うべきか？  
→PR動画や乳製品の宣伝、プロジェクションマッピングの実施等

#### ◎出前授業の結果

大学生からの質問と小中学生の答え(抜粋)  
(1) 那須塩原市の魅力を伝えるための方法は？

- 観光スポットをパンフレットやSNSでの発信
- PR 動画や交通手段を整える
- 都会や他の地域にはないものをPR

(2)「まちづくり」はだれが行うもの？

- ・子どもと大人が連携して行う。
- ・子どもの自由な発想と大人の計画力で行う。
- ・市長さんを中心として行っていく。



#### ◎市民へのPR

広報なすしおばら1月号(12月20日発行)にプロジェクト演習の取組状況を掲載した。  
今回の活動を多くの市民に知ってもらう機会を作ることができた。



## 提案

◎アンケートの分析から、小中学生が那須塩原駅周辺にあつたら良いと考えているものが分かったため、そこから実現可能なものを抽出し、実際に那須塩原駅前のスペースを活用して取り組む

→小中学生が自らまちづくりに関わる経験と実感

◎地元の小中学生が那須塩原に愛着を持ち、未来の那須塩原について考えていることを広く市民に理解してもらい、まちづくりと一緒に取り組めるような環境を作るきっかけとして、私たち大学生が懸け橋となって小中学生の取組の広報活動を定期的に行う。

→継続的な小中学生との関係性づくり

